

「霧島小学校の霧島七不思議巡りの取組」

1 学校名

霧島市立霧島小学校

2 学年・人数

3年生：12人，4年生：9人

3 日時・場所

日時：令和2年5月29日（金） 14:15～16:00

場所：霧島神宮周辺

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・特徴について

(1) 名称

蒔かずのたね（まかずのたね），風穴（かぜあな）

文字岩（もじいわ），御手洗川（みららいがわ）

亀石（かめいし），両度川（りょうどがわ）

夜中の神楽（よなかのかぐら）

(2) 特徴※ 引用：霧島市役所ホームページより

蒔かずのたね：霧島の山中や竹やぶに自然の陸稲が生える。

文字岩：10立方メートルぐらいの岩で，真ん中から割れて10センチメートルぐらいの隙間ができていて，中をのぞくと字が彫られている。

亀石：神宮の旧参道の中ほどにあり，カメにそっくりの自然石である。

風穴：旧参道にあり，以前，岩穴からいつも風が吹き出していた。

御手洗川：下の岩穴から湧き出る小川。11月から4月頃まではほとんど枯れているが，5月頃から非常な勢いで大量の水が湧き出る。

両度川：6月頃から水が流れ出して8・9月頃には枯れてしまう。水が流れたかと思うと，全く乾いてしまい，数日経つとまた流れ出す。毎年同じ時期に決まって二度流れるので，両度川と呼ばれている。

夜中の神楽：昔，霧島神宮の社殿の奥で神楽が鳴り響いていたそうだが，今でも時々深夜にかすかに神楽のような物音がすると言われている。

5 保存会や地域との連携の具体

霧島市役所や観光協会でも紹介されている史跡である。本校は霧島神宮から近いことから，毎年総合的な学習の時間で探検し，学習している。郷土を知る意味でも大変価値ある学習となっている。

6 活用の取組の工夫した点

地元でありながら子供たちは意外に郷土のよさを知らないことが多いので，学習計画に位置付け，探求学習をさせている。

7 取組の様子



亀石



風穴



両度川



御手洗川

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

<参加児童>

- 今日、5時間目と6時間目に4年生と3年生で探検に行きました。今日は、霧島神宮に「霧島七不思議伝説」を見に行きました。そのうち、4つを見ました。「亀石」と「風穴」と「御手洗川」と「両度川」です。いろいろな不思議がありました。中でも御手洗川に不思議がありました。昔からあった不思議が見られてよかったです。
- 今日、「かがやき」の時、霧島七不思議の「亀石」と「風穴」と「両度川」と「御手洗川」を見に行きました。「亀石」は、本当に亀の形でした。「風穴」は、石の中から風が出ていたけど、今は、穴がふさがれていました。それがとても不思議だなと思いました。

<教職員>

- 霧島神宮には何度も行ったことはあったけれど、七不思議があったことを初めて知りました。実際に足を運び見たことで、不思議の意味を知ることができました。また、自宅に帰宅してから家族に話をしましたが、知らなかったので伝えていくことで、いろいろな人たちが知り、昔からある不思議を伝承していくことも必要だと思いました。